

ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2025年7月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料> ※オプションツアーも同様です。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って20日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前日から起算して遡って7日前以降	旅行費用の30%
旅行開始日前日	旅行費用の40%
旅行開始日当日	旅行費用の50%
旅行開始後の解除、無連絡不参加	旅行費用の100%

利用予定航空会社

ANA(全日本空輸)
またはJAL(日本航空)
またはスカイマーク

利用予定バス会社

琉球バス
ゆいバス など

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

①企画手配料・及び手配料金 ②交通費:旅程に明示した航空機(エコノミークラス) ③宿泊費:下記ホテル又は同等クラスのホテル 那覇市内＝コンフォートホテル、オーシャン、ルートイン泊港、ホテルルートイン那覇旭橋駅東、ルートイングランティア那覇、琉球サンロイヤル、パシフィックホテル、サンプラザ、ナハナホテル、グランビュー、グレイスリー ④食事代(朝3回 昼2回 タ2回) ⑤視察費用:手配料 ⑥見学費用:旅程表に明示した市内の見学のガイド料、入場料(自由時間は除く) ⑦旅行傷害保険(死亡1,000万円、入院1日当たり6,000円、通院1日当たり4,000円) ⑧添乗員同行の費用:1名 ⑨講師謝礼

■旅行代金に含まれないもの

①旅程に記載のない行動をされる場合の宿泊、交通費、食事、及び個人的に購入(お土産、飲食等)したもの ②ご自宅～空港までの交通費 ③オプションツアー代金(後日詳細をご案内いたします) ④1人部屋追加料金(一人あたり15,000円/3泊)

■お部屋割りについて

基本2名様/1室 ※ホテルの状況によりお一人部屋の手配ができないこともあります。また、相部屋をご希望の場合でも、お部屋割りによりお一人部屋をご利用いただく場合があります。その際は一人部屋追加料金を承ります。あらかじめご了承ください。

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業84号 JATA正会員

 株式会社 **富士国際旅行社**

TEL: **045-212-2101** FAX: **045-212-2201**
Mail: henshu@fits-tyo.com 担当: 西須(さいす)・山田

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理
営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(土日・祝日は休ませていただきます。)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

お申込方法

- ①同封の国内企画旅行取引条件説明書面をご確認の上、下記申込書 にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送・FAXでお送りください。(国内企画旅行取引条件説明書面の同封がない場合は、お申込書が届き次第、旅行社より郵送します。)
- ②**申込金20,000円**(旅行費用内金)または旅行費用全額を富士国際旅行社宛に下記郵便振替口座へご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

郵便振替口座番号 00140-4-39332 加入者名 株式会社 富士国際旅行社
他金融機関よりお振込の場合 ○一九(ゼロイチキュー) 当座 0039332

- 恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。なお、大変恐縮ではございますが、金融機関振込票のお客様控をもって領収書に代えさせていただきますので、ご了承ください。(領収書の郵送が必要な方は弊社までご連絡ください)
- ③ツアーの実施が確定しましたら、弊社よりご連絡いたします。
 - ④ご出発の約10日前には出発当日のご案内や日程の詳細などのご旅行資料を送付いたします。

株式会社 富士国際旅行社 宛
●別紙、取引条件説明書面に記載の旅行条件および旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等、その他への個人情報の提供について、同意の上、当旅行に申し込みます。

参加申込書 歴史教育者協議会企画 戦後80年 沖縄の戦後史をたどる旅 4日間

2025年12月25日(木) 発

ふりがな	性別	旅行出発時 年齢	ふりがな	性別	旅行出発時 年齢
氏名	男 女	歳	同行 ご家族	男 女	歳
生年月日	年 月 日 生		生年月日	年 月 日 生	
住所	(〒 ー)		出発空港	希望空港に○をお付け下さい↓ 羽田・関西・伊丹・中部・福岡・その他() ※行程表に記載の時刻・ツアー代金は、羽田発着の場合です。羽田以外をご希望の方は、別途、航空便時刻・御料金をご案内いたします。	
電話 FAX 携帯番号 メール	() ー ー () ー ー () ー ー @		参加人数 及び お部屋割り について	☐ 1人部屋希望※一人部屋利用／別途追加料金がかかります。 ☐ 2名部屋:()様と同室を希望 ☐ 2名部屋:どなたでも良い(男女別)	
旅行中 緊急 連絡先	【連絡先名】 (続柄:) 【住所】 【電話番号】		前泊	各空港周辺の前泊ホテル手配を承っております。 ☐ 前泊を希望する (空港周辺) ※料金別途ご案内	
アンケート	今回の企画をどこでお知りになりましたか? ○お付け下さい。 ()		旅行社への 連絡事項	食べられないものやアレルギーがある方、健康状態など旅行社へ連絡事項がある場合、記入下さい。	



2025年歴史教育者協議会沖縄見学旅行 戦後80年 沖縄の戦後史をたどる旅 4日間



旅行期間 **2025年12月25日(木)～12月28日(日)**

旅行代金 **146,000円** (羽田発) 定員 **30名**(最低実施人数20名様)

※羽田空港以外の発着・現地参加希望の方はお問合せ下さい。

添乗員 羽田空港より同行します。

申込締切 **12月4日(木)**

旅のおさそい

戦後80年、沖縄は再び「戦争前夜」に直面しています。「安保3文書」閣議決定以後、自衛隊基地建設・その強靱化が進み、「台湾有事」における県民「本土」避難計画も遡上に上っています。当時県民4人に1人が犠牲になった沖縄戦の悲劇を忘れず「命どう宝」の心です。今回は「集団強制死」の慶良間諸島渡嘉敷島、対馬丸記念館、辺野古・高江を見学します。現地の方々と戦後80年の今も続く米兵による女性への性暴力についての懇談を考えています。多様な沖縄の自然と歴史が育んできた文化にふれ、現地の方々との交流は歴教協企画ならではの旅です。ぜひご参加ください。

歴教協常任委員会

企画

一般社団法人 **歴史教育者協議会**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-13-8千成ビル
Tel: 03-3947-5701 Fax: 03-3947-5790
メール: jimukyoku@rekkyo.org

日程表					2025年 歴史教育者協議会沖縄見学旅行 戦後80年 沖縄の戦後史をたどる旅				
日次	都 市	時刻	交通機関	日程（宿泊）／食事					
① 12月25日 (木)	東京・羽田空港発 沖縄・那覇空港着 空港発	午前	航空機	羽田空港から空路、沖縄・那覇へ （羽田空港集合 午前8時頃予定） ＊不屈館					
		午後	専用車						
	講演会場着 ホテル着 夕食場所着	夕方		<講演会>米兵による性暴力事件を考える（仮） ホテルチェックイン・お部屋割り ◆夕食交流会					
					食事：×・×・夕／那覇市内ホテル				
② 12月26日 (金)	ホテル発 泊港着/発 座間味島着	8:00	高速船 徒歩	高速船で泊港から座間味港へ <午前：座間味島見学> ＊太平洋戦争沖縄戦上陸第一歩之地 ＊忠魂碑 ＊平和の塔 ＊躑躅の塔 など 船で渡嘉敷島へ 途中で昼食 <午後：渡嘉敷島見学> ＊西展望台 ＊集団自決跡地の碑 ＊白玉之塔 ＊特攻艇秘匿壕 など 再び高速船で渡嘉敷港から泊港へ ◆夕食					
	座間味島発 渡嘉敷島着	午後	チャーター 一船 専用車						
	渡嘉敷島発/泊港着 夕食場所着 ホテル着		高速船						
					食事：朝・昼・夕 ／那覇市内ホテル				
③ 12月27日 (土)	ホテル発 辺野古着 昼食場所着 東村高江着 ホテル着	午前	専用車	那覇から辺野古へ 途中トイレ休憩 ＊辺野古（現地の方のお話）とグラスボート乗船 ■昼食 ＊東村高江を訪問 ＊対馬丸記念館					
		午後							
	夕刻								
					食事：朝・昼 ・× ／那覇市内ホテル				
④ 12月28日 (日)	那覇空港集合 発 羽田空港着	15:30	航空機	終日：自由行動またはオプションツアー参加 （オプションツアーは後日ご案内） 那覇空港集合（15時半ごろ） 航空会社チェックイン 空路、羽田空港へ （羽田空港到着 午後19時00分頃予定）					
	食事：朝・× （0P昼） ・×								
※現地事情で見学日時・順序が入れ替わる可能性があります。予めご了承ください									



最高気温／最低気温
沖縄の12月気候

東京	沖縄
12/7	20/16
単位:℃	



旅の見学先紹介

● 慶良間諸島

沖縄戦の縮図

慶良間諸島は、沖縄本島的那覇市から西へ約40km、エメラルドグリーンの海に浮かぶ、渡嘉敷島・座間味島・阿嘉島などを含む大小30余りの島々で構成されています。

昭和20（1945）年3月26日、沖縄本島攻略のため、アメリカ軍は真っ先に座間味島に上陸し29日には諸島全域を占領しました。この地は日本軍にとって戦略上の重要拠点とされ、前年の昭和19年9月には、海の特攻隊と呼ばれる「陸軍海上挺進戦隊」が座間味島、阿嘉島、慶留間島、渡嘉敷島に配備されていました。

特攻基地という軍事機密を守るため、住民は日本軍の厳しい監視下に置かれ、「軍官民共生共死」の方針が徹底されていました。米軍上陸後、日本軍により「鬼畜米兵」との恐怖を植えつけられていた住民は投降をせず、山間の壕などに逃げ込んでいました。

また、大勢の軍隊が狭い島々に駐屯したことで食料不足は深刻化し、さらに過酷な軍の統制のもと、朝鮮人軍夫を含む多くの人々が虐待や殺害の対象となるなど、住民は極度の緊張と不安の中で生活を強いられていました。

こうした状況の中、米軍上陸からわずか3～4日の間に、渡嘉敷島や座間味島を中心に700人以上の住民が「集団自決」（強制集団死）に追い込まれました。

現在、慶良間諸島には慰霊碑や戦跡が点在しており、当時の悲劇を今に伝え続けています。

● 不屈館 瀬長亀次郎と民衆資料

沖縄で反米軍基地闘争や本土復帰運動の象徴的存在であった瀬長亀次郎氏の遺品を中心に展示し、沖縄の現代史を学ぶことができる資料館。館内には200冊に上る日記や、沖縄を統治していた米当局が出版を許可しなかった瀬長氏の本土復帰論が掲載された雑誌など、歴史的に貴重な資料も展示されています。不屈館は、会員の皆様の会費や、来館者をご購入いただくグッズ・本の売上のみで運営されています。しかし、新型コロナの影響で来館者が激減。運営自体も大変厳しくなっています。不屈館への募金や来館、グッズ購入などご支援をお願いいたします。

● 対馬丸記念館

対馬丸事件とは、昭和19（1944）年8月22日、沖縄県内各地から集められた学童らを乗せた疎開船「対馬丸」が那覇港を出航し、長崎を目指す途中に米軍の潜水艦「ボーフィン号」によって撃沈された事件です。船は約10分で沈没し、乗船者約1800名のうち、学童を含む1484名（氏名判明者数）が犠牲となりました。那覇市にある対馬丸記念館では、事件の全容を学ぶことができ、犠牲者の氏名や、生存者・遺族の証言、当時の学校教室や船倉ベッドの復元展示、犠牲者の遺影・遺品などを見ることができます。また、記念館と同じ旭ヶ丘公園内には、犠牲者を祀る「小桜の塔」も建立されています。

● 東村高江

ヘリパッドに揺れるヤンバルの村

沖縄本島北部のヤンバル(山原)にある東村高江集落周辺では、政府によるヘリパッド建設が強行的に進められ、住民の強い反対の声も押しきり、2016年12月建設されました。ヤンバル(山原)の豊かな原生林に覆われ、天然記念物のヤンバルクイナなど貴重な動植物が生息している自然豊かな高江を訪問し、現在起こっている問題を学びます。



知っておきたい

辺野古 新基地建設のこと



沖縄本島北部の東海岸にある大浦湾は、多様な生態系を誇り、世界的にも貴重なアオサンゴの群集とジュゴンが生息する海です。そんなキレイな海を望む名護市辺野古では、普天間基地の移設先として新基地建設が進んでいます。2018年9月30日投開票された沖縄県知事選では、翁長雄志知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地反対を掲げて初当選した玉城デニー前衆院議員が、過去最多となる39万6632票を獲得しました。2019年2月24日に実施された辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票では、県民の7割が反対を示しましたが、国は移設に向けた工事を続けました。「基地がある所は狙われる。二度と悲惨な戦争は起こしてはいけない」「未来を生きる子どもたちにきれいな海」を残したいという思いで、多くの人が現在も基地反対の座り込みを続けています。

国は、大浦湾のマヨネーズ並みとされる軟弱地盤の改良工事を沖縄県に申請しましたが、県はこれを不承認とし、埋め立て工事はストップしていました。工事を承認しない県に対して国が行った是正の指示が違法かどうか争われた裁判で、2023年9月、県の敗訴が確定。その判決により、県は工事する義務を負いましたが、応じない姿勢をとりました。そのため、国は、県に変わって国が代執行を行う訴えを起こし、裁判所は認めました。地方自治法に基づく代執行は初めてで異例の事態です。県は判決を不服として最高裁判所に上告するものの、県側が勝訴するまで代執行を止めることはできず、2024年1月から防衛省は大浦湾の工事に着手しています。



▲辺野古の浜



沖縄県図